



災害への備え



災害エスノグラフィー



災害図上訓練(DIG)



応急手当等



赤十字防災セミナー

災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか？

対象 町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として一般成人の方

会場 地域のコミュニティセンター、公民館、学校体育館等

内容 「災害への備え」「災害エスノグラフィー」「災害図上訓練(DIG)」
「応急手当等」から必要なものを選択・組み合わせることが可能

「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

日本赤十字社は、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、
地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

今後発生が予測される 大規模災害に対して

例えば・・・

	南海トラフ地震	首都直下地震
今後 30年以内の 発生確率	両地震ともに70%程度 平成28年(2016年)に発生した熊本地震の発生確率は発生時点では、ほぼ0～0.9%でした。 地震はいつ起こるかわかりません。	
最大想定 死者数	最大32万3千人	最大2万3千人

内閣府資料、中央防災会議資料、地震調査研究推進本部資料による

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

赤十字防災セミナーの目的

- 1 災害への備え**
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 2 災害エスノグラフィー**
大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 3 災害図上訓練 (DIG: Disaster Imagination Game)**
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 4 応急手当等**
身近なものをを用いた応急手当(搬送含む)をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動)等を学ぶ。

※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせて実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成



Q 日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？

A これまで日本赤十字社は、長年に渡り救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体(自治会、町内会)のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



赤十字防災セミナーに関するお問い合わせは
日本赤十字社各都道府県支部まで



自分のいのちと、地域を守るために。

(写真提供:神戸市)

赤十字防災セミナー

災害への備え

防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす
様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。


災害という非日常で、
私がすべきことを考えるために。

もう救助なんか待ってられせんもんねえ。
ただ、若い人は、声かけられて初めて動くんですよ。動きたいと
あつて、すぐ動くんですけど、声かけるとは辛出しにくい。あつて、
君もね、「おばちゃんか、ああしろ言うてくれたりね、
つた」言うてね。あの子はすつと色々手伝ってくれたりね、行きや
てますよ。若い人達はねえ、何か一つ…何かしようという
うまくまとめられる…ね、組織があれば、
あと、交番なり町内会の役員なりで、お年寄りだけはしつ
と危ないですよ。私はおかげさんで、ここに長年住んで、町内のこと大体
役員しよっちゃうしているもんだから、町内のこと大体
なことにかかわり持っているもんだから、どこに誰が住んでい
他の人達よりもよく知ってますからね。それでも、マシ、多分 200 人ぐら
んまり知りませんけど。そう考えると何ていうんですかね、待つてね。
がああいう災害に遭って、生き残ってずっとやっていけ
て近所の力ついているのが大事ですねえ。
にはメインで教頭先生がずっといらつしゃいましたけど、避難された方々
してて、世話好きな方が仕切ってました。その中でよく面談してんのは
してて、毎日名簿作って、避難所での色んな取り決めの先生方と
さんに頼もうって言ってね。あの人はお米を配達するから、お米を
い例見がいいからね。そのときちょうど町会の役員もしてたし。最初「え
って言ってましたけど、結局最後までよく世話してくれましたよ。
次の次の日くらいですかね。あれはEさんか、町の市場の自治会の方が
、三人だったかな、今度余震が来たら潰れてしまうから駅の構内に避難
らつしやるということを知って、駅の構内のコンクリはかわいいそうだっ
出したんですよ。それでですね、避難所にお連れしたんです。みんなに
て場所を空けてもらって。よくあんな冷たいところで寝てたあつて思
まんとに気の毒だねえ。まだ板間ならいいけど、たたきの上に段ボール

赤十字防災セミナー

災害エスノグラフィー

被災した人々の視点で書き留められた読み物から、
災害を追体験し、被災状況をイメージする。



災害を知り、
地域を知り、
人を知るために。

赤十字防災セミナー

災害図上訓練(DIG)

地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し、個人や地域の防災意識を高める。

※DIG:Disaster Imagination Game



自分のために、
家族のために、
地域のために。

赤十字防災セミナー

応急手当

身近なものをを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた除細動等）を学ぶ。



地域力の大切さを思い知らされた！

災害が起こった時どうなるのか。
必要なことは何か。
具体的に感じることができた。

自分の周りのことについて考え直す良い機会だった。

紙面でも、 危険な場所や地域のことを考えられた。

まず自身の安全。
次に救助へ。
それが間違いないものだったと思った。

思い切ってリーダーとして引っ張っていく
必要があると思いました。

皆が同じ危機感を持っていることが分かった。

—赤十字防災セミナーを受講した皆様から—